

令和2年度 学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 大垣桜高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和2年1月28日(木)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

| | | |
|-------|--------|------------------------------------|
| 会 長 | 堀 あゆ美 | 岐阜県社会福祉協議会 福祉人材部 福祉人材総合支援センター主任 |
| 副 会 長 | 高木 久 | 墨俣一夜城(歴史資料館) 館長 |
| 委 員 | 安立 優美 | イタリア料理 アドゥエパッシン 経営者 |
| | 戸谷 多民男 | 特別養護老人ホームあすわ苑 施設長 |
| | 長崎 哲也 | 自家焙煎珈琲長崎屋 経営者 |
| | 藤野 紫 | 育友会長 |

(委員名は五十音順)

| | | |
|-------|--------|--------|
| 学 校 側 | 猿井 久美子 | 校長 |
| | 宮田 慶美 | 教頭 |
| | 伊藤 友弘 | 事務長 |
| | 瀬下 裕基 | 教務主任 |
| | 須藤 亜由子 | 生徒指導主事 |
| | 西村 佐英子 | 進路指導主事 |
| | 郷 絵美 | 家庭部長 |
- 5 送付資料 各分掌の自己評価・学校関係者評価
令和2年度進路状況
部活動及び各種コンクールの成績
卒業研究作品発表会の報告
- 6 主なご意見
 - ・ICTの活用により、わかりやすい授業、自ら考え意欲的に学ぶ姿勢を促すことで成果をあげている。
 - ・自宅学習の習慣を身に付けるという課題は次年度も継続して取り組んでほしい。
 - ・教科ごとに授業を参観し合うことは、教員同士の志気を高め、魅力ある授業づくりと生徒の学習意欲向上につながる。
 - ・朝学習の取組は興味深い。
 - ・いじめの早期発見や悩み事、相談事に親身になって対応していることが生徒からの評価でわかった。きめ細やかな対応を今後も継続してほしい。

- ・交通ルールを守る意識向上の難しさを感じた。
- ・コロナ禍での生徒の進路指導に大変苦勞される中で、進学・就職ともに良好であったことは、教員の努力の賜である。
- ・基礎学力向上への取組について具体的内容を知りたい。
- ・進学希望者が増加傾向にあり、その対策を一層充実させる必要がある。
- ・キャリアエッセイやリライトの実施など、進路決定に向けた具体的な指導ができています。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、図書館利用者数が激減したのは残念である。校内放送で本を紹介するなど、図書館の密を避けながら、本への興味を引き出す取組は素晴らしい。
- ・コロナ禍で体育大会や文化祭などの学校行事が中止となり、生徒全員に活躍、活動の場を与えるために壁画を制作されたことは評価したい。課外授業は生徒にとってかけがえのない思い出となる。
- ・安全教育の観点では、命を守る訓練の実施に加え、感染症対策も行っている。引き続き、感染防止対策を生徒やその家族が一丸となって取り組む意識の向上を促してもらいたい。
- ・生徒の健康診断後の受診率向上のためには、家庭との連携が不可欠であるため、更に工夫を検討してほしい。
- ・育友会総会を書面開催とし、議事についてはメール回答で承認・可決された。来年度もこの形式で行うことになると思われ、育友会活動の改革に繋がった。
- ・専門学科の外部講師によるオンライン授業など、将来を見据えた意識や学びの意欲を高める取組は良い。
- ・専門性をより深めるためにWeb会議等で外部と交流されたことは非常に効果的で、生徒の意識向上につながっている。
- ・活動に制限はあるが、特色ある学習や地域でのクリーン活動、地域交流等の活動に期待する。
- ・卒業研究作品発表会は、各学科の特色があり、生徒のモチベーションを高め、生徒間の団結心を育む素晴らしい総括の場だと思う。
- ・伝統を受け継ぎながら、時代に合ったより良い方法を模索して、学校全体の質をさらに高められることを楽しみにしている。

7 会議のまとめ

今回は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、資料を送付し、後日ご意見をいただくという書面開催の形式とした。委員の皆様よりいただいた貴重なご意見は、職員会議等で周知し、今後の教育活動に生かしていきたい。